

平成24年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交通政策課（内線：7100）八頭総合事務所県民局（電話：0858-72-3968）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)若桜鉄道ミュージアム創出事業	7,800	0	7,800				7,800	
トータルコスト	10,214千円（前年度 0千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	周知説明、申請書の審査・補助金の支払い、関係機関との調整							
工程表の政策目標（指標）	(交通政策課) 生活交通の維持確保 (八頭総合事務所県民局) 八頭地域の食や自然等地域資源の活用、地域づくり活動による地域の活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

多くの魅力のある資源のある若桜鉄道の沿線一帯を鉄道ミュージアム（博物館）と見立て、全国へ発信・売り出すために必要な事業に対して支援を行うとともに、地域の魅力や活性化の取組について県内外に情報発信を行い、新たな来訪者を呼び込むことで地域活性化に寄与する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業区分	想定事業（例示）	補助率	予算額	事業実施主体
補助事業 （ソフト）	<ul style="list-style-type: none"> 計画作成 ガイドブック、リーフレットの作成 オープニングセレモニーの開催 ガイドの養成 	定額	1,000	若桜鉄道沿線活性化協議会
補助事業 （ハード）	<ul style="list-style-type: none"> 文化財プレートの設置 ミュージアム看板の設置 車両のギャラリートレイン化(内装、車装を美術館風に装飾) 施設のバリアフリー化 文化財の修繕（美装化） ビューポイント（見学・視察場所）の整備 	1 / 2	5,000	若桜町 八頭町
対外的な 情報発信 事業	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道雑誌、旅行雑誌への広告掲出 現地案内ツアーの開催 首都圏、関西圏でのPR 	—	1,800	県(交通政策課)

※補助事業については、例示に拘らず地元での協議を経て関係団体でオーソライズがなされたものを支援する。

3 これまでの取組状況

- 若桜鉄道の駅舎や鉄橋等の諸施設の多く（23施設）が国の有形文化財に登録（2008(H20)年）されるなど、地域の交通としての機能だけでなく、地域の活性化のための重要なツール、起爆剤として大きな可能性を有している。
- 地元においても、各駅で「〇〇駅を守る会」のような地域住民を巻き込んだ組織の立ち上げも盛んで、これらを総括する若桜鉄道沿線活性化協議会も平成23年3月に設立され、地域で「若桜鉄道」を盛り上げていこうという機運が高まっている。